

環境経営レポート

2023年度

(対象期間：2023年4月～2024年3月)



茨城スバル自動車株式会社

発行日：2024年5月31日

目次

【 1 】組織の概要	1
【 2 】対象範囲	2
【 3 】環境経営方針	3
【 4 】環境経営目標	4
【 5 】環境経営計画	5
【 6 】環境経営計画に基づき実施した取組内容	..	6
【 7 】環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組 結果とその評価 7 ~	8
【 8 】環境関連法規などの遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟などの有無	9
【 9 】代表者による全体の評価と見直し・指示	10

【1】組織の概要

代表者コメント

お客様や取引先、地域の方々、社員とその家族といった当社に関わる全ての人々が、より良い環境で生活していくための活動の一つがエコアクション21になります。全社員がこの活動の目的や意味を理解し具体的な取組を実践していくことは、当社の企業理念でもある「人々の幸福な生活に寄与する…」ことに繋がります。今後、さらに有効な活動となるように当たり前のことが当たり前に行える組織を目指して実行してまいります。

(1) 事業所名

茨城スバル自動車株式会社

(2) 代表者氏名

代表取締役社長 大槻 秀樹

(3) 所在地

茨城県水戸市千波町 1 9 8 4 - 1

(4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者	常務取締役	木村 弘
事務局	総務部部长	保科 孝夫
事務局	総務部課長代理	伊藤 春樹

連絡先 電話 029 - 241 - 1341 (代表) F A X 029 - 243 - 1783

(5) 事業の内容

新車及び中古自動車の売買・整備・修理、自動車部品・用品の販売、損害保険の代理店業務

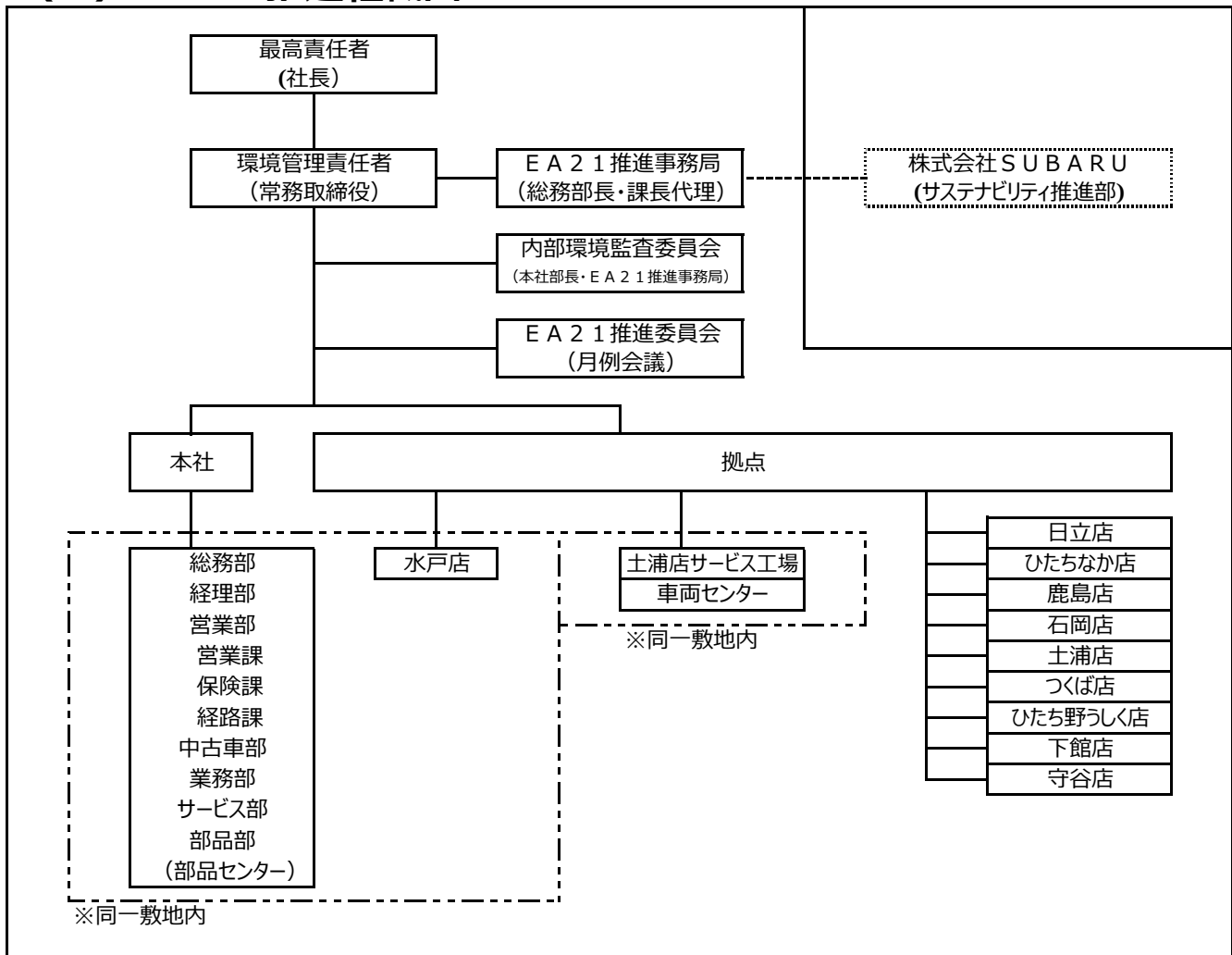
※以上の全活動を認証登録の対象範囲とする。

(6) 事業の規模 (2023年度)

・売上高	8,888 百万円
・新車販売台数	1,844 台
・中古車販売台数	1,278 台
・従業員数 (派遣・パート等含む)	237 人
・敷地面積	53,430 m ²

【2】対象範囲

(1) E A 21推進組織図



(2) 事業所一覧・組織区分

事業所名	郵便番号	住所	連絡先	電話番号	FAX番号	敷地面積 (㎡)	工場資格	組織区分
1 本社 (水戸店除く)	310-0851	水戸市千波町1984-1	総務部長	029-241-1341	029-243-1783	10,728.0	—	A
2 日立店	319-1411	日立市川尻町1-37-14	店長	0294-42-3611	0294-42-8707	1,912.0	指定	C
3 ひたちなか店	312-0005	ひたちなか市新光町27-3	店長	029-212-9600	029-212-9603	5,000.0	指定	C
4 水戸店	310-0851	水戸市千波町1984-1	店長	029-241-1505	029-243-7713	0.0	指定	C
5 鹿島店	314-0135	神栖市堀割1-1-28	店長	0299-90-1871	0299-93-9010	3,200.0	指定	C
6 石岡店	315-0071	かすみがうら市市川86-2	店長	0299-22-6107	0299-23-6707	1,314.6	認証	C
7 土浦店	300-0046	土浦市千束町4-5	店長	029-821-5247	029-822-6718	941.1	—	B
8 土浦店サービス工場 車両センター	300-0006	土浦市東中貫町2-1	工場長	029-831-2381	029-832-2713	11,401.2	指定	D
			センター長	080-3541-5658	029-832-7699		—	D
9 つくば店	300-2622	つくば市要元南口堀字西原3-1	店長	029-877-0200	029-877-0266	1,303.0	指定	C
10 ひたち野うしく店	300-1207	牛久市ひたち野東3-3-2	店長	029-828-5700	029-828-6055	7,140.8	指定	C
11 下館店	308-0063	筑西市神分45-1	店長	0296-22-5261	0296-22-4426	1,832.3	指定	C
12 守谷店	300-2435	つくばみらい市筒戸3346-1	店長	0297-52-0171	0297-52-0154	2,967.0	指定	C

47,740

※以上の全組織を認証登録の対象範囲とする。

○工場の資格で「指定」は指定整備工場、「認証」は認証工場を示す。

○組織区分の意味 A = オフィス業務

C = オフィス業務 + 自動車販売 (新車、中古車) + 整備業務

B = オフィス業務 + 自動車販売 (新車、中古車)

D = オフィス業務 + 整備業務

【3】環境経営方針

環境経営方針

《基本理念》

茨城スバル自動車株式会社は、事業活動および環境保全活動において、「人々の幸福な生活に寄与するために活動する」という企業理念に基づいて、シンプルで清々しい集団を目指して研鑽を積んでいきます。

《基本方針》

この理念のもと、当社が行なう自動車および部品の販売、整備、修理、保険業務に関する事業活動が環境に及ぼす影響を考慮し、以下の環境保全活動に積極的に取り組みます。

- 1、事業活動のあらゆる領域で、省資源、省エネルギー（CO2削減を含む）リサイクル、公害防止に配慮した活動を行ないます。
- 2、環境汚染の未然防止と共に、環境経営システムとその運用による成果の継続的改善に努めます。
- 3、適用される環境関連法規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 4、当社の事業活動が環境に与える影響を正しく認識し、環境経営目標を定め継続的な環境改善に取り組みます。
 - ①環境対応型自動車（低燃費車・低公害車等）の普及
 - ②拠点周辺の美化を積極的に行ない、地域の環境改善に貢献する。
 - ③省エネルギーの推進（電力使用量、燃料使用量）
 - ④省資源（水使用量、紙使用量）
 - ⑤廃棄物の排出抑制と適正処理（一般廃棄物及び産業廃棄物排出量の削減）
 - ⑥化学物質の把握、管理（P R T R法関連、V O C対策）
- 5、この環境方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。

制定 平成 22年 6月 25日

改定 令和 3年 5月 30日

茨城スバル自動車株式会社

代表取締役社長 大槻 秀樹

【4】環境経営目標

目標項目	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量の削減 ＜売上高当りCO2排出量＞			
売上高	404,912 Kg-CO2	403,139 Kg-CO2	381,862 Kg-CO2
2019年度 9,380 百万円			
2020年度 8,446 百万円	43.7 Kg-CO2/百万円	43.5 Kg-CO2/百万円	41.2 Kg-CO2/百万円
ガソリン消費量削減 基準値：2019年度実績	△0.5%	△1%	△7.0%
153,434 ℓ	152,667 ℓ	151,900 ℓ	142,694 ℓ
CO2排出量 354,615 Kg-CO2	352,842 Kg-CO2	351,069 Kg-CO2	329,792 Kg-CO2
37.8 Kg-CO2/百万円	37.6 Kg-CO2/百万円	37.4 Kg-CO2/百万円	35.2 Kg-CO2/百万円
消費電力量維持 指標値：2019年度実績	指標値	指標値	指標値
876,140 kwh	876,140 kwh	876,140 kwh	876,140 kwh
CO2排出量 7,268 Kg-CO2	7,268 Kg-CO2	7,268 Kg-CO2	7,268 Kg-CO2
0.8 Kg-CO2/百万円	0.8 Kg-CO2/百万円	0.8 Kg-CO2/百万円	0.8 Kg-CO2/百万円
軽油消費量維持 指標値：2020年度実績	指標値	指標値	指標値
10,131 ℓ	10,131 ℓ	10,131 ℓ	10,131 ℓ
CO2排出量 26,190 Kg-CO2	26,190 Kg-CO2	26,190 Kg-CO2	26,190 Kg-CO2
3.1 Kg-CO2/百万円	3.1 Kg-CO2/百万円	3.1 Kg-CO2/百万円	3.1 Kg-CO2/百万円
灯油消費量維持 指標値：2020年度実績	指標値	指標値	指標値
6,130 ℓ	6,130 ℓ	6,130 ℓ	6,130 ℓ
CO2排出量 15,262 Kg-CO2	15,262 Kg-CO2	15,262 Kg-CO2	15,262 Kg-CO2
1.8 Kg-CO2/百万円	1.8 Kg-CO2/百万円	1.8 Kg-CO2/百万円	1.8 Kg-CO2/百万円
液化石油ガス（LPG）消費量維持 指標値：2020年度実績	指標値	指標値	指標値
1,117 kg	1,117 kg	1,117 kg	1,117 kg
CO2排出量 3,350 Kg-CO2	3,350 Kg-CO2	3,350 Kg-CO2	3,350 Kg-CO2
0.4 Kg-CO2/百万円	0.4 Kg-CO2/百万円	0.4 Kg-CO2/百万円	0.4 Kg-CO2/百万円
廃棄物排出量の削減			
一般廃棄物低減 基準値：2019年度実績	△0.5%	△0.7%	△1%
45.0 t	44.8 t	44.7 t	44.6 t
(45,027) kg	(44,802) kg	(44,712) kg	(44,577) kg
＜売上高当り一般廃棄物削減量＞	△0.5%	△0.7%	△1%
2019年度売上高…9,380百万円	44,802 Kg /	44,712 Kg /	44,577 Kg /
45,027 Kg / 9,380 百万円	9,380 百万円	9,380 百万円	9,380 百万円
= 4.80 Kg/百万円	4.78 Kg/百万円	4.77 Kg/百万円	4.75 Kg/百万円
産業廃棄物の削減 基準値：2019年度実績	△0.5%	△0.7%	△1%
88.7 t	88.3 t	88.1 t	87.8 t
(88,685) kg	(88,242) kg	(88,064) kg	(87,798) kg
＜売上高当り産業廃棄物削減量＞	△0.5%	△0.7%	△1%
2019年度売上高…9,380百万円	88,242 Kg /	88,064 Kg /	87,798 Kg /
88,685 Kg / 9,380 百万円	9,380 百万円	9,380 百万円	9,380 百万円
= 9.45 Kg/百万円	9.41 Kg/百万円	9.39 Kg/百万円	9.36 Kg/百万円
紙（コピー用紙）の使用削減 基準値：2019年度実績	△0.5%	△0.7%	△1%
8.46 t	8.42 t	8.40 t	8.38 t
(8,460) kg	(8,418) kg	(8,401) kg	(8,375) kg
＜売上高当り紙使用削減量＞	△0.5%	△0.7%	△1%
2019年度売上高…9,380百万円	8,418 Kg /	8,401 Kg /	8,375 Kg /
8,460 Kg / 9,380 百万円	9,380 百万円	9,380 百万円	9,380 百万円
= 0.90 Kg/百万円	0.90 Kg/百万円	0.90 Kg/百万円	0.89 Kg/百万円
総排水量の削減			
水使用量維持 指標値：2019年度実績	指標値	指標値	指標値
8,281 m ³	8,281 m ³	8,281 m ³	8,281 m ³
＜売上高当り水使用削減量＞	指標値	指標値	指標値
8,281 m ³ / 9,380 百万円	8,281 m ³ / 9,380 百万円	8,281 m ³ / 9,380 百万円	8,281 m ³ / 9,380 百万円
= 0.88 m ³ /百万円	0.88 m ³ /百万円	0.88 m ³ /百万円	0.88 m ³ /百万円
PRTR対象化学物質 使用量の把握・管理	PRTR法対象物質はないが把握・管理を継続実施		
環境対応型自動車の普及			
新車販売における環境対応車の販売比 指標値	指標値	指標値	指標値
60.0 %	60.0 %	60.0 %	60.0 %
車検付点検バック付保率の維持			
新車販売における点検バックの付保率 指標値	指標値	指標値	指標値
75.0 %	75.0 %	75.0 %	75.0 %
社会貢献活動	店舗周辺の美化等、エコキャップ運動への参加		

※2021年度より消費電力、軽油、灯油、液化石油ガス（LPG）、排水量は維持活動に移行するため指標値とする。

※指標値とは、基準値に対して大きく変動のない数値。消費電力、軽油、灯油、LPGはCO2排出量の割合が限定的であること、総排水量については基準値に対して変動幅が小さいことから削減ではなく維持活動に移行する。

【5】環境経営計画

活動	手段	活動によるメリット
二酸化炭素排出量の削減 ガソリン消費量削減 消費電力量維持 軽油消費量維持 灯油消費量維持 液化石油ガス（LPG）の適正利用	○業務効率の改善 ○労働環境の改善 ○省エネルギー活動 ・低燃費車への代替 ・効率的な営業活動の推進 ○調理担当者に無駄な利用抑制の周知（水戸、本社）	○生産性の向上 ○コストの削減 ○プライベート時間の創出 ○離職率の低下
廃棄物排出量の削減 産業廃棄物の削減 紙（コピー用紙）の使用削減	○3R活動の推進 ・再整備の抑制 ・PC、タブレット使用によるペーパーレス化の推進 （車両販売、保険業務におけるシステム運用）	○生産性の向上 ○コストの削減 ○社会貢献 （県内小学校への本の寄附） ○法令順守
総排水量の削減 水使用量の維持	○節水活動 ○工程の改善（洗車の削減）	○生産性の向上 ○コストの削減
環境対応型自動車の普及 新車販売における環境対応車の販売比 SUBARU車は安全性能の高さが環境に貢献	○販売ノウハウの共有及び勉強会の実施 ○情報提供による販売促進	○顧客満足度の向上 ○安全、安心の提供 （アイサイト、SGPなど） ○差別化によるシェア拡大
車検付点検パック付保率の維持 新車販売における点検パックの付保率	○販売ノウハウの共有及び勉強会の実施	○顧客満足度の向上 ○安全、安心の提供 ○修理、メンテナンスの充実

【6】環境経営計画に基づき実施した取組内容

(1) 二酸化炭素排出抑制

①ガソリン使用量の削減

- ・「エコドライブ10」のすすめ
- ・効率的な業務計画による効率的な車両の使用

②電気使用量維持

- ・全社でのクールビズ実施（環境省推奨期間の5月1日～10月31日）
- ・屋外広告塔の全店舗20：00消灯
- ・PCのスタンバイ設定の実行

③軽油使用量の維持

- ・「エコドライブ10」のすすめ
- ・効率的な車両の使用

—— 「エコドライブ10」の内容 《参考》 ——

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. ふんわりアクセル「eスタート」 | 6. 渋滞を避け余裕をもって出発 |
| 2. 車間距離にゆとりをもって加速・減速の少ない運転 | 7. タイヤの空気圧から始める点検・整備 |
| 3. 減速時は早めにアクセルを離す | 8. 不要な荷物はおろそう |
| 4. エアコンの使用は適切に | 9. 走行の妨げとなる駐車はやめよう |
| 5. ムダなアイドリングはやめよう | 10. 自分の燃費を把握しよう |

④液化石油ガス（LPG）使用量の維持

- ・調理担当者への無駄な利用削減の周知

(2) 廃棄物排出抑制

①紙（コピー用紙）の使用削減

- ・電子文書の使用拡大による印刷数削減
- ・裏紙使用および両面印刷の推進

②産業廃棄物の削減

- ・マニフェストの完全運用
- ・分別再資源化の推進

(3) 総排水量抑制

①上下水道の使用量維持

- ・洗車時の効率的な水使用
- ・サービス工場床の拭取り習慣化

(4) 環境対応型自動車の普及

- ・勉強会を実施し商品知識の向上、販売ノウハウの共有

(5) 車検付点検パック付保率維持

- ・車検付点検パックの付保による車検、点検整備車両増加

(6) 社会貢献活動

- ・各店舗周辺の道路清掃活動

【7】環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

目標項目	2023年度目標	2023年度実績	評価
二酸化炭素排出量の削減 <売上高当りCO2排出量> 売上高 2019年度 9,380 百万円 2020年度 8,446 百万円	403,139 Kg-CO2	320,055 Kg-CO2 / 8,888 百万円	達成 17.2 %削減 (百万円当たりのKg-CO2)
ガソリン消費量削減 基準値：2019年度実績 153,434 ℓ CO2排出量 354,615 Kg-CO2 37.8 Kg-CO2/百万円	△1% 151,900 ℓ 351,069 Kg-CO2 37.4 Kg-CO2/百万円	122,993 ℓ 285,549 Kg-CO2 32.1 Kg-CO2/百万円	達成 14.2 %削減 (百万円当たりのKg-CO2)
消費電力量維持 指標値：2019年度実績 876,140 kwh CO2排出量 7,268 Kg-CO2 0.8 Kg-CO2/百万円	指標値 876,140 kwh 7,268 Kg-CO2 0.8 Kg-CO2/百万円	808,020 kwh 0 Kg-CO2 0.0 Kg-CO2/百万円	達成 7.8 %削減 (指数値kwhに対して)
軽油消費量維持 指標値：2020年度実績 10,131 ℓ CO2排出量 26,190 Kg-CO2 3.1 Kg-CO2/百万円	指標値 10,131 ℓ 26,190 Kg-CO2 3.1 Kg-CO2/百万円	7,505 ℓ 19,399 Kg-CO2 2.2 Kg-CO2/百万円	達成 29.6 %削減 (百万円当たりのKg-CO2)
灯油消費量維持 指標値：2020年度実績 6,130 ℓ CO2排出量 15,262 Kg-CO2 1.8 Kg-CO2/百万円	指標値 6,130 ℓ 15,262 Kg-CO2 1.8 Kg-CO2/百万円	5,121 ℓ 12,749 Kg-CO2 1.4 Kg-CO2/百万円	達成 20.6 %削減 (百万円当たりのKg-CO2)
液化石油ガス (LPG) 消費量維持 指標値：2020年度実績 1,117 kg CO2排出量 3,350 Kg-CO2 0.40 Kg-CO2/百万円	指標値 1,117 kg 3,350 Kg-CO2 0.40 Kg-CO2/百万円	786 kg 2,358 Kg-CO2 0.27 Kg-CO2/百万円	達成 33.1 %削減 (百万円当たりのKg-CO2)
廃棄物排出量の削減 一般廃棄物低減 基準値：2019年度実績 45.0 t (45,027) kg <売上高当り一般廃棄物削減量> 2019年度売上高…9,380百万円 45,027 Kg / 9,380 百万円 = 4.80 Kg/百万円	△0.7% 44.7 t (44,712) kg △0.7% 44,712 Kg / 9,380 百万円	29.4 t (29,426) kg 29,426 Kg / 8,888 百万円	達成 30.5 %削減 (百万円当たりのKg-CO2)
産業廃棄物の削減 基準値：2019年度実績 88.7 t (88,685) kg <売上高当り産業廃棄物削減量> 2019年度売上高…9,380百万円 88,685 Kg / 9,380 百万円 = 9.45 Kg/百万円	△0.7% 88.10 t (88,064) kg △0.7% 88,064 Kg / 9,380 百万円	87.4 t (87,391) kg 87,391 Kg / 8,888 百万円	未達成 -4.7 %オーバー (百万円当たりのKg-CO2)
紙 (コピー用紙) の使用削減 基準値：2019年度実績 8.46 t (8,460) kg <売上高当り紙使用削減量> 2019年度売上高…9,380百万円 8,460 Kg / 9,380 百万円 = 0.90 Kg/百万円	△0.7% 8.40 t (8,401) kg △0.7% 8,401 Kg / 9,380 百万円	6.54 t (6,540) kg 6,540 Kg / 8,888 百万円	達成 17.8 %削減 (百万円当たりのKg-CO2)
総排水量の削減 水使用量維持 指標値：2019年度実績 8,281 m ³ <売上高当り水使用削減量> 8,281 m ³ / 9,380 百万円 = 0.88 m ³ /百万円	指標値 8,281 m ³ 8,281 m ³ / 9,380 百万円	6,111 m ³ 6,111 m ³ / 8,888 百万円	達成 22.1 %削減 (百万円当たりのKg-CO2)
PRTR対象化学物質 使用量の把握・管理	PRTR法対象物質はないが把握・管理を継続実施		
環境対応型自動車の普及 新車販売における環境対応車の販売比 指標値 60.0 %	指標値 60.0 %	エコ 全 1,370 台 / 1,687 台 (登録車) 81.2 %	達成 + 35.3 %
車検付点検バック付保率の維持 新車販売における点検バックの付保率 指標値 75.0 %	指標値 75.0 %	72.5 %	未達成 -3.3 %
社会貢献活動	店舗周辺の美化等、エコキャップ運動への参加		

(1) 二酸化炭素排出抑制

①ガソリン使用量の削減

エコドライブの浸透や車両の効率的な使用等により目標に対して**14.2%**削減することができました。月によってプラスマイナスはありますが、年度では全店が目標を達成しています。引き続き効率的な使用と「エコドライブ10のすすめ」の定着を推進します。

②電気使用量維持

記録的な猛暑が連日観測されるなど夏場の電気使用量が増加しましたが、最終的に目標に対して**7.8%**削減することができました。但し、店舗間で差があるため、引き続き効率の良い電気使用に向けた取り組みを模索して実行していきます。

③軽油使用量の維持

エコドライブの浸透や効率的な使用等により目標に対して**29.6%**削減することができました。引き続き、効率的な使用と「エコドライブ10のすすめ」の定着を推進します。

(2) 廃棄物排出抑制

①産業廃棄物の削減

マニフェストの適正な管理、分別の徹底等により目標達成に向けて取り組みましたが、結果は目標未達成でした。引き続きマニフェストの完全運用と分別の徹底に取り組めます。

②紙（コピー用紙）の使用削減

リモート会議、ファインプリントの定着により目標に対して**17.8%**削減することができました。引き続き、社内資料を中心にペーパーレス化を推進していきます。

(3) 総排水量抑制

①上下水道の使用量維持

節水の取り組みが浸透し使用量削減につながり、目標に対して**22.1%**削減することができました。引き続き、削減意識の更なる浸透をはかります。

(4) 環境対応型自動車の普及

環境対応車のラインアップが増え、お客様のニーズに合わせながら意識して提案を行った結果、目標を達成することができました。引き続き定期的な勉強会で商品知識の向上を図り、丁寧な説明、提案を実施していきます。

(5) 車検付点検パック付保率向上

全てのお客様へ提案することを意識し、積極的に取り組みましたが、結果、目標未達成でした。引き続き、車両販売商談時に全てのお客様へ点検パックの付保のメリットを伝えて提案していきます。

(6) 社会貢献活動

店舗前歩道清掃は毎日実施し、毎月2回は全スタッフで周辺道路まで清掃しています。継続して実施していきます。

【8】環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

I 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

主な適用法規	要求事項	遵守評価
水質汚濁防止法	・特定施設の届出 (自動式車両洗浄施設)	○ 特定施設設置届出済 (10店舗)
浄化槽法	・設置の届出 ・法定点検、保守点検の実施	○ 設置届出済 各点検実施済
下水道法	・使用の届出 ・特定施設の届出	○ 特定施設設置届出済
廃棄物処理法	・廃棄物の適正処理 ・廃棄物処理業者との委託 契約書の締結 ・廃棄物の表示、保管管理 ・マニフェストの交付、管理 および報告	○ 委託契約書の締結 マニフェストの返送管理および 各報告の実施
消防法	・少量危険物貯蔵所の設置届	○ 設置届済10店舗+車両C+本社 日立、ひたちなか、水戸、鹿島、石岡、 土浦(サ)、つくば、うしく、下館、守谷
自動車リサイクル法 (フロン排出抑制法も関連)	・使用済自動車の適正処理	○ 業者登録 使用済自動車の適正処理実施
茨城県生活環境の保全 に関する条例	・各適用法規に準ずる	○
土浦市・かすみがうら市 との公害防止協定	・各適用法規及び県条例に 準ずる	○

II 違反、訴訟等の有無

2024年3月に環境関連法規の遵守状況を確認した結果違反はありません。

なお、関係当局よりの違反等の指摘も過去3年間ありません。

同様に訴訟についても1件もありません。

【9】代表者による全体の評価と見直し・指示

レビュー項目	報告者の説明の概要及び経営者の指示事項						
①環境経営計画の実施状況及び環境経営目標の達成状況	二酸化炭素排出量		単位	削減目標	年度目標	年度実績	評価
			kg-CO2	各目標の合算値	43.5	36.0	達成 -17.2%
	二酸化炭素排出抑制	ガソリン	/百万円	△1.0%	37.4	32.1	達成 -14.2%
		電気	kwh	指標値	876,140	808,020	達成 -7.8%
		軽油	kg-CO2 /百万円	指標値	3.1	2.2	達成 -29.0%
		灯油		指標値	1.8	1.4	達成 -22.2%
		LPG		指標値	0.40	0.27	達成 -32.5%
	廃棄物排出抑制	一般廃棄物	kg/百万円	△0.5%	4.77	3.42	達成 -28.3%
		産業廃棄物		△0.5%	9.39	9.8	未達成 +4.4%
	紙使用量削減	一般廃棄物		△0.5%	0.90	0.74	達成 -17.8%
	総排水量削減	上水道	m3/百万円	指標値	0.88	0.69	達成 -21.6%
		環境対応型自動車の普及	%	指数値	60.0	81.2	達成 +35.3%
	車検付点検バック付保率の向上	%	指数値	75.0	72.5	未達成 -3.3%	
②苦情を含む社外の利害関係者からの受付結果	環境に関する行政及び各店舗周辺、その他関係者等からの苦情はありません。						
③環境法規制、その他の要求事項の遵守状況	現状での問題はありません。						
④当社に關係する環境法規制、条例等の変化・変更の状況	大きな変化・変更はありません。						
⑤是正処置、予防処置の結果又は取組状況	環境目標に対する実績において、軽油以外は全店舗で目標達成もしくは+20%未満でした。9月時点の結果で+20%以上の店舗（日立店の電気）に対して是正処置を行い、+20%未満までリカバーすることができました。軽油については8台の積載車を10店舗と本社で使用しており、給油のタイミングで実績値が変わるため+20%以上の店舗が3店舗ありますが、全社で見ると達成しています。						
⑥前回のマネジメントレビューでの指示事項への対応状況	環境関連コンプライアンスを最重要課題として活動することを継続して実施していきます。						
⑦環境経営方針の見直しの必要性	見直しは必要ありません。						
⑧その他	7月～8月、11月～12月に全店内部環境監査を実施した結果、不適合事項は1件もありませんでした。						
見直しの結果	○	現在のシステムが有効に機能していることを確認した。					該当する項目に○を記入する。
		現在のシステムが一部有効に機能していない。					
	あり	なし	環境経営方針の変更の必要性				
	あり	なし	環境経営目標の変更の必要性（ガソリン削減目標-1.5%から-7%）				
	あり	なし	推進体制の変更の必要性				
<社長の総括的指示事項>							
<p>2023年度新型コロナも第5類へ移行し収束方向と言われているものの、弊社では感染対策を継続しつつ、社員、お客様ともに安心・安全に配慮した営業活動が行われるよう取り組みました。</p> <p>また、このところの自然災害（猛暑・ゲリラ豪雨・突風）に対する防御もEA21に関連することであると判断できます。</p> <p>昨年度から蛍光灯2030年問題に対して、各店舗のLED化を計画的に推進し、エネルギー削減、CO2排出量削減の社会的一助となるよう今後も継続的に推進してまいります。</p>							